

## 技術と社会部門 2013 年度部門賞 優秀講演論文表彰受賞者挨拶

優秀講演論文表彰を受賞して



阿部慶子(日本アドバンステクノロジー株式会社)

このたびは優秀講演論文表彰をいただきまして、ご関係の皆様にも心より深くお礼申し上げます。平成24年度技術と社会部門講演会(2012年11月 秋田高専)で「コーヒーの起源伝説から飲料になるまでの産業史」という表題で講演させていただきました。日本機械学会の技術と社会部門でコーヒーの話題という、不思議な組み合わせではございますが、文化活動にひらめきや癒しを与えてくれるコーヒーは研究には不可欠と信じております。著名人もコーヒー好きが多く、強いコーヒーを好んだナポレオンや、60粒/杯の豆を数えたベートーベンなど、先生方の中にもコーヒーを愛する方が多くいらっしゃるのではと思います。また、2013年7月のイブニングセミナーでは、コーヒーの粉碎と抽出を取り入れた実演参加型の講演をさせていただきました。たくさんの準備が必要だったため、小西先生はじめご関係の皆様には多大なるご協力をいただきまして、感謝申し上げます。少しでも多くの方に新鮮な挽きたてコーヒーの喜びが伝われば嬉しいです。

市場に目を向けますと、コーヒー業界でも、より使いやすくデザインした新商品やカラーバリエーションの追加、簡単に楽しめるアレンジコーヒーなど、様々な商品が流通してきております。私の美味しいコーヒーのための研究は、起源と抽出の歴史についてざっくりと把握した現況でして、毎朝手挽きミルで豆を挽いてドリップ、休日は時々サイフォン、まだ購入して試していないネルやフレンチプレスなど、粉碎・抽出の過程でも未だ学ぶところが多いです。植物なので先には農業という課題が待っていますが、近い将来、焙煎まで辿り着ければと考えております。収穫、乾燥、焙煎、粉碎、抽出というコーヒーのプロセスは長い時間をかけて、ある程度淘汰された形です。現象をよく観察し、先人が残してくれたものによく学び、良所を引き出すことが目指すところであります。コーヒーに関する技術的なおもし

ろい話がまとまりましたら、またご報告させていただければ幸いです。

皆様の一杯のコーヒーがますます素晴らしいものになりますようお祈りしております。

最後になりますが、第91期部門長の池森寛先生、発表の場を与えてくださった星朗先生、いつもご指導くださる技術と社会部門の先生方に重ねてお礼申し上げます。

---

日本機械学会技術と社会部門ニュースレター: <http://www.jsme.or.jp/tsd/news/index.html>

---

日本機械学会

技術と社会部門ニュースレターNo.32

(C)著作権:2015 一般社団法人日本機械学会 技術と社会部門